

つどい まなぶ むすぶ

よろこび

2022年9月15日号(No.34)

CONTENTS

- 2 第18回鹿嶋市芸術祭・第16回て〜ら祭
- 2 これであなたも“鹿嶋人”!?
- 3 市民センのひろば
- 3 地域レポート・まちづくり探検隊「地域の安全・安心を守るために」
- 4 INTERVIEW ROOM・きらり☆まちづくり「鹿嶋市立豊郷公民館 館長 木之内 健治郎 さん」



第25回鹿嶋市美術展覧会
「絵画の部」



第25回鹿嶋市美術展覧会
「写真の部」



第25回鹿嶋市美術展覧会
「工芸の部」



第25回鹿嶋市美術展覧会
「書の部」



市民カレッジ（日本製鉄）①



市民カレッジ（日本製鉄）②



市民カレッジ（日本製鉄）③



市民カレッジ（日本製鉄）④



市民カレッジ（日本製鉄）⑤



市民カレッジ（古事記・雅楽）①



市民カレッジ（古事記・雅楽）②



市民カレッジ（古事記・雅楽）③

第18回鹿嶋市芸術祭

令和4年10月25日(火)～30日(日)
9:30から17:00(最終日は15:00)まで
まちづくり市民センター体育館

出品方法

令和4年9月6日(火)～25日(日) 9:00～17:00
※月曜日は休館

まちづくり市民センターまたは各地区まちづくりセンター(各公民館)にある所定の申込用紙に必要事項を記入し、同所に申込み

資格

鹿嶋市に在住・在勤・在学する高校生以上の方
および
市内の社会教育施設などを活動の場とする方

部門

絵画／書／写真／工芸／手芸／華道／
和紙絵／自由創作

たくさんのお申込みをお待ちしています！

第16回て～ら祭

11月5日(土) 9:30～15:30
6日(日) 9:30～15:00

会場 まちづくり市民センター

目的 新しい生活様式を取り入れ、笑顔で集い、ふれあい、学び合う機会を提供し、市民同士のつながりや新たな出会いの場を創出することで、活力あふれるまちづくりを目指し、開催します。

実施内容

- ◇ ステージ発表
- ◇ 体験・展示活動
- ◇ 模擬店
- ◇ クイズラリー



※上記の内容は予定です。最新の情報は市民センターHPをご確認下さい。

▲以前の様子

問合せ

鹿嶋市まちづくり市民センター

☎TEL. 83-1551

これであなとも“鹿嶋人”！？

これであなとも“鹿嶋人”コーナーでは、鹿嶋市に関するクイズを出題しています。クイズに正解して、あなたも“鹿嶋人”を目指しましょう！

Q 高松かるたからの問題です。木滝地区には通称「富士山」と呼ばれる山があり、その山に関する内容がかかるたで詠まれています。□にあてはまる漢字2文字は何でしょう。

「さらさらと□□に雪ふる 富士の山」

A 真夏
木滝に標高30m程の小高い山があり通称富士山と呼ばれていたそうです。享保(江戸時代)のある日、山の下を通った人たちが「駿河の富士山は夏でも雪があるのに、この山は何もない」などとあざ笑っているとその帰り道、夏土用(7月20日頃から8月6日頃)なのに雪が降ってきたそうです。その後、「富士山大権現」と刻んだ立派な石塔を建て、毎年しめ縄やお神酒を供えてお祭りを大正時代の頃まで行っていたということです。



利用しています!!

市民センのひろば



仏像彫刻の同好会として毎月第2・第4土曜日に各自、それぞれのペースで無心になれる手彫りの時を楽しんでいます。見学歓迎します!!

楽彫会
佐藤 行良さん(青塚)



みんな65歳以上の私たちがですが、ハワイアンキルトを通して学び続けています。ハワイの花や自然や動物等、作っている時も楽しいし、心が豊かになります。

パンの木
榎本 笑子さん(鉢形台)

団体紹介



「晶美会」

大岩 紀子さん(平井)

「晶美会」の例会は、毎月第1・第3日曜日の午後、市民センターの創作室で、油彩・水彩・日本画などの創作を行っています。指導者はなく各々の経験を生かして、互いに意見を交換しあって楽しく創作しています。

活動の目的は、日々の絵画への想いをキャンパスに描き自分の世界を表現して行くことを心掛け、年に1回グループ展の開催を目標として活動を続けています。

過去20年講師ありの教室でしたが、講師のご都合で3年前から生徒だけになりました。当時は解散も考えましたが、全員の「絵は続けたい」との熱意で描き続けています。



▲日頃の活動の様子

地域レポート



まちづくり探検隊 (vol.33)

～地域の安全・安心を守るために～ 木滝パトロール隊

平成25年7月に結成した「木滝パトロール隊」は、地域の安全・安心を守るため、毎月3回（上旬は夜間、中旬と下旬は下校時間に）パトロールを実施しています。

木滝パトロール隊代表の三杭さんに、パトロールをしていて「良かったな」と思うことを聞くと、2点挙げてくれました。

1点目は、高松っ子のみんなが元気にあいさつしてくれることだそうです。元気にあいさつができない子どもが増えたと言われていますが、その理由として安全・安心のため「見ず知らずの人と話さない」という意識があるのだと思います。地域の大人が安全・安心な地域づくりをしてくれているからこそ、高松っ子は安心して元気にあいさつができるのかもしれないですね。

2点目は、木滝パトロール隊の仲間と出会えたことだそうです。木滝パトロール隊に入って巡り会った仲間と様々な意見交換や情報交換を通して、信頼が生まれ、ひいては自分自身の成長にもなっているとのこと。実際にパトロール中は真剣な眼差しで取り組む中にも、時折仲間と楽しくお話ししながら活動しており、生きがいにもつながっているのではないかと感じました。

今回は木滝パトロール隊を紹介しましたが、課題もあるそうです。現在35名+馬のムサシくんが在籍していますが、高齢化が進み最年少は58歳。木滝パトロール隊の存続のためにも新しい人材の確保が必要不可欠となっています。毎月上旬の夜間パトロールは現役世代でも参加可能な時間となっています。木滝地区に住むあなたも、木滝地区の安全・安心を守るために木滝パトロール隊に参加してみませんか？



▲木滝パトロール隊のみなさん



▲パトロールの様子

お知らせ

研修室304をリニューアルしました!

研修室304に鏡を設置しました。研修室としてもダンス練習にも使えるお部屋となっております。ぜひご利用ください!



7～9月の市民センPhotograph♡



きらり★まちづくり (vol.33)

地域の繋がりを 根強いものに

鹿嶋市立豊郷公民館

館長 木之内 健治郎 さん(須賀)



公民館と私

公民館とは、長い付き合いです。鹿嶋市役所職員を退職後、地域に貢献できるのであればと、後任依頼を受けるかたちで豊郷公民館の館長に就任しました。公民館長としてだけでも10年になるんですよ。

公民館は、地域のあらゆる情報が入り提供できる、昔の床屋さんのような、たまり場的な場所だと思っています。

豊郷地区の特徴

豊郷地区では年々高齢化の一途をたどっています。この地域はコンビニが無く、信号機が豊郷小学校の横に1つしかありません。たびたび「通学路の歩道を整備してほしい」という声を耳にしていたのですが、残念ながら公民館としては実現不可能でした。

支えあい会議において、一人暮らしの高齢者の方を念頭に置き、実態を知るためのアンケート調査を行いました。そうすると「買い物に行くことが不便である」と

いう高齢者の方が多く見受けられたので、他の福祉ボランティア団体を参考に今年の4月に公民館の規約を改正し、「健康ふくし部」のボランティア部を立ち上げました。内容としては一人暮らしの高齢者の買い物やゴミ出しの補助、電球の交換、各家庭に訪問し困っていることの相談と言った感じです。しかし、中々活用して頂いておりません。

是非、心置きなく活用して頂きたいと思っています。

第72回公民館表彰を受けて

私のときにたまたま表彰を受けただけで、30年もの間、初代の館長、それから職員たちが続けてきた結果です。北浦一周歩く会は継続的な事業であり、小学校のPTAや関係者の協力が不可欠ですから。

この事業も今では年代を問わず、思い出づくりとなっています。30周年を記念し作成した記念誌は、参加者のひとつ上の世代の方まで喜ばれるものとなりましたね。30回連続で完歩した方に

は寄稿もしていただきました。

今後の抱負

豊郷公民館は唯一、児童クラブが併設しているところなのですが、館長会議の際に「なぜ高齢者のシニアクラブと連携しないのか」という声が上がりました。普段から連携を取ることで、児童も高齢者の方もお互いに助け合い、円滑に物事を運ぶことができると思います。隣近所の方とのお付き合いと同じようなものです。

以前に豊郷小学校の体育館で児童クラブとシニアクラブが三世代交流の一環として、悪天候でも室内で出来る「ボッチャ交流大会」を開催しました。その際は非常に盛り上がり、連携の必要性を再確認しました。

公民館はただチラシを配るだけではなく、既存の各団体を積極的に活用していくことが重要なのではないかと思います。

今後、更に日頃の繋がりを深め、協力体制の構築を目指していきたいと考えています。

活動風景



▲北浦を一周歩いている様子



▲全国公民館表彰(まちづくり委員長 塚原さん)

PROFILE

■きのうち けんじろう

- 鹿嶋市須賀在住
- 元鹿嶋市役所職員
- 平成24年度豊郷公民館長に就任
- 趣味はゴルフ・ウォーキング